消費税をなくす会のみなさんへ

京都市長選挙で福山和人さん勝利へ、あらゆる支援を訴えます

　　　　　　　　　　　　　　2020年1月8日

　　　　　　　　　　　　　　消費税をなくす全国の会常任世話人会

京都市長選挙（１月19日告示、２月２日投票）が行われ、「つなぐ京都2020」の福山和人（弁護士）さんが立候補します。

福山さんは、市民一人ひとりが参加する政治をつくっていこうという声と運動の広がりのなかで、立候補を決意されました。

福山さんは、暮らしの応援と経済の活性化、まち壊しを許さず京都を守る、自治の復権を柱にしたマニフェストと「暮らしすぐやるパッケージ」を発表し、京都の政治をみんなで変えようと訴えています。

また、マニフェストでは、京都市をめぐる市民要求とともに、「消費税の５％への引き下げとインボイス制度の廃止を国に強く求める」を掲げています。

自・公主導の現職に対し、草の根から野党と市民の共闘を積み上げ、日本共産党、新社会党、れいわ新選組、みどりの党が応援し、京都の文化とまちを守れと全国からの良識の声と支援の輪が広がっています。

京都での勝利は、桜を見る会やＩＲ・カジノ利権で政治を歪め、くらしと地方自治への攻撃を強める安倍政治をストップさせる大きな力になると考えます。

全国各地のなくす会のみなさんが、あらゆるつながり、知恵を発揮し、福山和人さん勝利のためにあらゆる支援を心から訴えます。